



岡田 聰 議員

# 予算編成の基本的な考えは

町長

## 財源をより効果の高い施策に



町の活性化をいかに

【岡田】平成30年度予算編成は、町長が初めて自身で関わる予算である。

所信表明の中の重点施策の具現化に向けた予算と考える。基本的な考え方はどうか。

【町長】人口減少を食い止めることが最重要課題である。そのための政策を中心に予算編成をしていく。

【岡田】行財政改革の成果をどう生かすのか。

【町長】行財政改革は財源捻出のためと思っている。限られた財源をより

効果の高い施策に振り替えて行く。

【岡田】一次産業の所得向上をはかることが、町の活性化と若者定住につながると思う。

また、観光と農林水産業の連携で経済効果をはかつてはどうか。

【町長】産業全体の強化で経済循環を良くして実現をはかりたい。

地域おこし協力隊を一次産業全般に広げたい。

そして、観光と農林水産業の連携は、町内の消費をいかに増やすかだと思う。

# 「部落差別解消推進法」

## 課題の認識は

教育長

## 教育啓発を進める

【岡田】平成28年に公布・施行された。理念法ではある。第1条では憲法にのっとり部落差別は許されないものであり、この解消が国及び地方公共団体の責務であるとし、差別のない社会の実現を目的としている。現実には、ネット上での差別、人権侵害は、無法化している。より一層の教育啓発が求められるが。

【教育長】町教委と町人権同和教育推進協議会が更に連携して、地域や学校での教育・啓発を一層進めていく。

【岡田】本町の人権関係条例を、この法に合わせて改正充実しては。

【教育長】町人権尊重の社会づくり条例は、包括的な条例だが、十分対応していると考えている。しかし、町人権政策総合計画は見直していきたい。

【岡田】この法律を受けて町長の考えは。

【町長】差別解消にはやはり教育啓発が重要である。効果的に展開したい。



人権尊重のまちづくりを目指して

# 事業の政策決定は



大森 正治 議員

町長

## 公約優先、緊急性を考慮

【大森】新規事業の政策決定に当たっての優先順位は。

【町長】公約の達成が優先課題である。

【大森】町民要望に依る優先度の基準は。

【町長】明文化されたものはないが、緊急性や費用対効果である。

【大森】阿弥陀川にかかる町道の蔵岡渡しの潜水橋を架け替えする要望は、40数年間の住民要求である。現状をどう認識しているか。

【町長】水位の上昇で通行止めが年に数回あり、不便をかけている。

【大森】ここは、道が下ってカーブになり危険。車の転落事故も。利用者は多い。架け替えが実現しない理由は何か。

【町長】用地や予算の問題が一番のハードルである。何とかしたい気持ちはあるが、もどかしい。

## 就学援助を

## 前年度支給に

教育長

手続きなどの

検討が必要



入学時には多額の出費がある

【大森】就学援助（入学金準備金）の前年度内支給について、9月議会では前向きに検討するとのことだったが、今議会に予算が上程されてない。理由は。

【教育長】西部町村で前年度支給は1村である。まだ手続きなどの検討が必要である。

【大森】琴浦・北栄・湯梨浜町は、実施する予定である。本町でも可能ではないか。

【教育長】転出のケース、担当部署の事務量の増加という検討課題がある。

## デマンドバスの利便性を

町長

## 目的地発の時刻は増やせない



電気自動車のデマンドバス

【大森】デマンドバスの乗降場所は、歩行困難な利用者などの自宅前か近くに設置できないか。

【町長】集落の実情に合わせて、変更や追加などの相談に応じる。

【大森】目的地に集落の公民館などを加えること、目的地発の時刻を増やすことはできないか。

【町長】タクシーとの共存や5台での運行を考えると難しい。

【大森】スクールの夏休みの運行は。

【教育長】学年水泳と図書室利用をセットで有効利用してほしい。